

奄 美 自 然 観 察 の 森

奄美自然観察の森は奄美大島の北部にある長雲山系の頂上に位置し、2.5km 以上の散策路があり、ブナ科の木などの様々な植物や野生動物を観察することができる。春は色とりどりの花が咲き、一年中朝には多くの鳥たちが林床のミミズや昆虫を食する様子を観察することができる。観察できる鳥類の中にはアカヒゲ、ルリカケス、オオアカゲラ、オオトラツグミ、などがいる。林床には蘭が咲き、固い樹皮に張り付き、大気中の水分や養分を吸収する着生植物等も見られる。

森の生体サイクル

森の夏には蝶が飛び、4 種類のセミの声が響きわたる。道の先には大樹がたち、森の生と死の無限のサイクルを物語っている。他の木に落ちたアコウの種子が長きにわたり成長し、土台となる木を覆い、根を地上に向けて発達する。土台となる木は日差しと栄養を断たれて枯れ果てるため、アコウは「絞め殺しの木」の一種とされている。